



立花
 ストレリチア
 アレカヤシ
 ヘレコニア
 オクロレウカ
 メリー
 ゴッドセフィアナ
 ウーリーブッシュ
 タマシダ
 フリージア
 マーガレット

華 遇 記

池坊短期大学准教授
 華道家元池坊 特別囑託講師

藤井 真

「遇」～ストレリチア～



5月は親鸞聖人のご誕生をお祝いする「宗祖降誕会」。その聖人が若き日、「百日参籠」をされた六角堂は、「いけばな発祥の地」と言われています。正式名称は「紫雲山頂法寺」。本堂を上から眺めると六角宝形造であることから、「六角堂」や「六角さん」の名で京都の人々に親しまれ、境内には白鳥が泳ぐ池や日本で唯一のいけばな資料館も併設されています。

六角堂は聖徳太子が建立し、初代住職は遣隋使であった小野妹子で、隋の最新の文化を日本に伝え、その一つが仏前供花であり、それが「いけばな」へと昇華されました。それ以降、代々の家元が六角堂の住職を務めています。

ビルが建ち並ぶ京都の中心部に位置し、境内には親鸞堂があり、親鸞聖人像をご安置しています。ぜひ、京都へご参拝の際は、都会のオアシス「六角

堂」へお越しいただければと思います。今回の作品は「立花」と呼ばれ、仏前に供える供花として発展し、江戸時代に完成した最も古典的な花形の一つです。作品の主役は、皆さんも見る機会が多いストレリチア(極楽鳥花)を使用し、格調高く、華やかで、鮮やかな色彩が印象的なお花がお祝いムードを高めるようにいけました。

仏花は各法要や行事に依じて、常緑の草木と当季のお花を取り交ぜて使用し、仏さまの御恩に感謝して仏前をお荘厳してみましよう。(大分・正善寺衆徒)



六角堂(写真提供:華道家元池坊)